

CELERY



No.24
1996

CAMPUS
COMMUNICATION



中村学園大学 中村学園短期大学 / 広報

中村学園大学生の学生生活に 関する調査を実施

—「充実している」と回答した学生は、中間派を含め76.7%—

中村学園大学開学三十周年記念誌刊行にあたって、「本学大学生の大学生活に関する定点調査」を行った。本調査は、大学生活の実態を総合的に捉えることを意図して実施したものである。

「あまり充実していない」一九・五%、「全く充実していない」三・八%であった。「とても充実している」「かなり充実している」と回答したものを「充実肯定派」、と回答したものを「充実肯定派」、と回答「まあまあ充実している」と回答

調査票の構成は、大まかな項目のみを列挙すると、大学生の生活と意識 一日の生活時間 サークル・クラブ活動 アルバイト 学外講座への受講 学生の生活費の六項目であり、全部で六十の質問を設けた。

調査の全容は、三十周年記念誌によって公表されるが、ここでは紙面の関係で、その一部を紹介する。

したものゝを『充実中間派』とし、
「あまり充実していない」と回答したもの
を『充実否定派』として区分し分
析してみた。『充実肯定派』の学
生は、二〇・五％、『中間派』は
五六・二％、『否定派』は三・
三％と、『否定派』が、『肯定派』
を僅かながら上まわつてはいたが
半数強が、『中間派』に属していた。
専攻別に見てみると(図1)、

一、調査の概要
調査対象は、平成七年十二月一日に本学に在籍した一、四三五名とし、無記名で行った。調査方法は自己記入法であり、調査期間は平成七年十二月十一日―二十五日であった。

有効回答率 %
87.6%
84.6%
81.8%
79.8%
83.6%

有効回答サンプル数は、表1に示すとおりであった。教室で調査票が配布された日時に出席していた学生からは、ほぼ一〇〇%の回収があり、若干の不完全票をのぞき、回収された調査票の圧倒的多数が有効サンプルになった。

二、学生生活の充実度

現在の学生生活は「とても充実している」七・一%、「かなり充実している」一三・四%、「まあまあ充実している」五六・二%、

表1 有効回答数および有効回

学 年	在籍学生数*	有効回答数	
1 年	402	352	
2 年	351	297	
3 年	335	274	
4 年	347	277	
合 計	1,435	1,200	

* 1995. 12. 1現在

表1 有効回答数および有効回答率

学 年	在籍学生数*	有効回答数	有効回答率 %
1 年	402	352	87.6%
2 年	351	297	84.6%
3 年	335	274	81.8%
4 年	347	277	79.8%
合 計	1,435	1,200	83.6%

* 1995.12.1現在

表2 学生生活の充実度と生活時間（学生1人1日あたり平均生活時間）

学生生活の充実度	とても 充実している	かなり 充実している	まあまあ 充実している	あまり 充実していない	全く 充実していない	全 体
授業への一日出席時間	5 時間13分	5 時間19分	5 時間05分	5 時間07分	5 時間23分	5 時間08分
正課外学習時間・平日	54 分	1 時間02分	47 分	36 分	27 分	47 分
正課外学習時間・休日	1 時間18分	1 時間26分	1 時間01分	48 分	30 分	1 時間01分
図 書 館 利 用 時 間	38 分	27 分	20 分	18 分	14 分	22 分
クラブ活動時間・平日	1 時間	59 分	46 分	26 分	37 分	44 分
クラブ活動時間・休日	1 時間49分	47 分	30 分	43 分	11 分	40 分
アルバイト・平日	4 時間15分	4 時間06分	4 時間	4 時間08分	4 時間16分	4 時間04分
アルバイト・休日	6 時間	6 時間25分	6 時間25分	6 時間10分	6 時間53分	6 時間38分
睡 眠 時 間 ・ 平 日	6 時間12分	6 時間12分	6 時間13分	6 時間15分	6 時間05分	6 時間12分
睡 眠 時 間 ・ 休 日	7 時間46分	7 時間44分	7 時間44分	7 時間54分	7 時間55分	7 時間36分
通 学 所 要 時 間	36 分	42 分	45 分	42 分	51 分	43 分



・七%、管理栄養士専攻一八・六%の順であつた。また、「否定派」は、児童教育学専攻二四・三%、管理栄養士専攻二四%、児童学専攻二二・八%、食物栄養学専攻二〇・一一%の順であつた。

三、学生生活の充実度と生活時間表2に、学生生活の充実度の区分別に、一日の主な生活時間を示した。

一日の生活時間のうち、「学業時間（授業・正課外学習平日）」の占める割合は、全体平均で二四・七%（五時間五十五分）であつた。「充実肯定派」は、正課外学習時間が平日、休日のいずれも「否定派」より長く、図書館利用時間も同様な傾向が見られた。

「通学時間」という物理的な距離については、充実度を減退させる一因としてやむを得ないが、「充実否定派」の学生には、「正課外学習・クラブ活動」に対する無関心・無気力が生じてきていることが心配される。

「アルバイトの就労時間」は、授業期間中の平日が平均四時間四分、休日が六時間三十八分であり、

一日の四分の一を占めていることがわかった。因みに、今回の調査で、「アルバイトをしていない」と回答した者は一六・七％であり残りの約八割は何らかの形でアルバイトに就いていた。

六年毎に実施されている全国的な調査である、文部省「学生の生活等の実態に関する調査」（平成二十年十月、一四、七二二名対象実施）では、八八・二％がアルバイトに就いており、就労時間は五時間十二分であり、今回の調査結果を上まわっていた。何にしろ、学生アルバイトの労働力が社会に組みこまれていることが同様にうかがえる。

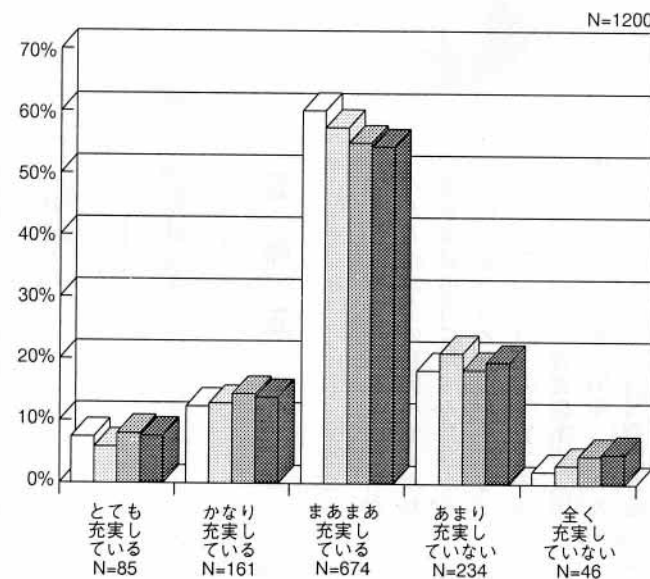
これらの生活時間からも、現代の学生生活の特色の一面が浮き彫りになっている。

四、図書館の利用状況

図書館の利用頻度についての回答は、図2に示すとおり、「ほとんど毎日利用」二・八％、「週二〜三回利用」一九・八％、「月四〜五回利用」四二・三％、「ほとんど利用しない」三五・一％という利用状況であった。

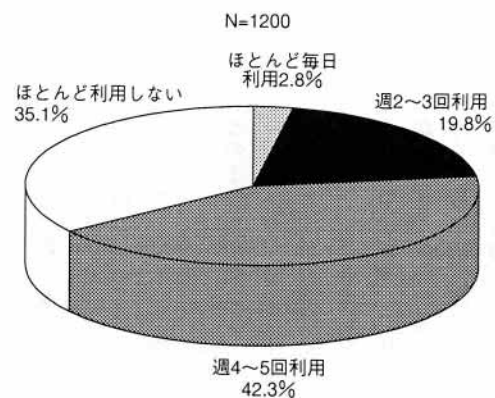
図1 学生生活の充実度 [専攻別]

図1 学生生活の充実度 [専攻別]



☐ 食物栄養学専攻 ☒ 児童学専攻
☒ 管理栄養士専攻 ☒ 児童教育学専攻

図2 図書館利用状況



 ほとんど毎日利用
 週2～3回利用
 週4～5回利用
 ほとんど利用しない

平成7年度 科学研究補助金対象研究の目的と内容 (下)

前号に引き続き、平成7年度に助成された科学研究補助金対象研究の目的と内容について、今号で児童系の3件を紹介する。

初等理科教育用語の標準化に 関する基礎的研究(基盤研究C2)

児童学科・幼児教育科
教授 梅 埜 國 夫(代表)



代表者が調査した結果によると、小学校から高校までの間に、生物教育用語(個々の生物名を除く)だけでも七千語以上の用語がでてくるのが分かった。このような状況から、教科書中の理科教育用語について検討し、その誤りを正すとともに、その分量(用語の種類数)の削減を図ることが求められている。

本研究では、現行の小学校教科書に記されている理科教育用語を抜き出して、各語が科学的に正しい用語であるのか、適切な言い方がされているのか、また、学年ごとの用語の数については適切であるかどうかなどについて検討を加える。そして、不適切な用語であれば、どのような用語によって置き換えればよいか、数が多い場合には、どの用語を削減すればよいかを検討し、標準用語集を策定する。本研究の成果は、現在、文部省が関係各学会等の協力のもとに進めている理科教育用語集の編纂に向けて、有力な資料を提供することにもなるであろう。

子を相談相手とすると考えているのに対して、保育者を相談相手とすると回答した母親は三八%にすぎず、六〇%の母親が、本・育児雑誌などのメディアから情報を得ると回答している。(梅丸ら、一九九四)さらに、保育職志望の学生を対象にした筆者の意見調査において、「子どもとは遊べるが、親と関わる自信がない。親との対話はできれば避けたい」という回答が多く認められたことから、保護者と保育者との相互の連帯がまだ十分に機能していない可能性が推測される。

初等・中等教育用教科書中には、多くの理科教育用語(自然科学の学術用語だけでなく、その代わりとして用いられている一般用語を含む)が出てくる。これらの用語の中には、誤って用いられている用語や不適切な用語も散見され、用法が不適切な場合も少なくない。また、理科と他の教科との間で、あるいは異なる出版社の教科書の間で、同一用語が別の意味で用いられていたりと、異なる意味で用いられている用語が同一の意味で用いられていることも多い。このような用語の混乱は、児童・生徒にも教師にも余分な負担を与え、理解を阻む原因を作っている。

また、理科教科書中にあまりにも多くの用語を用いることは、児童・生徒に暗記を強制する結果となり、理科嫌いを作る一因ともなっている。ちなみに、かつて本研究



児童学科・幼児教育科
講師 笠 原 正 洋(代表)

最近の育児ストレス、育児不安などの言葉に代表されるように、今後、保育職に携わる者は、乳幼児の保育だけに留らず、保護者への精神的支援を視野に入れた行動、すなわち保護者の育児不安に対処できる面接能力に対する要請が今以上に高まることが予想される。

しかし、現状は、(a)子育ての不安の多い母親が、育児教室や集団生活を望んでいる(田中、一九九四)。一方で、(b)六二%の保育者が育児の相談相手として、自分た

保育志望学生のもつ暗黙の 信念が育児不安場面の情報 理解に及ぼす影響(奨励研究A)

近世期文人に関する伝記および 人的ネットワークの総合的研究

—マルチメディアによる伝記データの
整備と検索システムの構築—

(重点領域研究)

児童学科・幼児教育科

講師 古 相 正 美



本研究は、日本近世期の文人に関する伝記研究、およびその人的ネットワークの解明において、コンピュータを利用したデータ収集・整理・分析の方法を試行し確立することを目的とする。

近世文学の営為は、単に一個人の精神活動によって成立するのではなく、人間相互の活動においてなされる。したがって、そこにおける人物研究は、必然的に人的ネットワークの研究である必要がある。また、一個人の文学的営為も、和歌を詠み、俳諧も吟じ、漢詩を賦し、狂歌もひねる等、多層的なものである。これは決して特殊な文人の有り方ではなく、近世

文芸においては極めて一般的な様相である。

具体的には、日本近世文学におけるおもな韻文学ジャンルをほぼ網羅的・総合的に検討すべく、歌人・俳人・狂歌師・詩人の四ジャンルについて、各分野の専門家を結集した。特に韻文学に注目するのは、近世期において文事を営む人間の多くが、なんらかの形で韻文学に関係しており、最大公約的な人物把握が可能となるからである。

また、本研究において特筆すべき点は、特定のアプリケーション・データベース・ソフトに依存せず、テキスト・ファイルのままデータを取り扱う点、CNC上で開発されたMS-DOSの環境に移植されて今日大いに注目されているインターネット言語を、初め、多くのCNC系ツールをパーソナル・コンピュータ上で用いる点等にある。

(特別講座)

平成8年度教職特別講座開講 —所期の目的達成をめざして—

教員採用試験対策としての「教職特別講座」開講は、本年度で三回目となります。本年度も三年次生、四年次生を対象に毎週土曜日(午前、あるいは午後)に実施しています。実施に当たっては、平素の講義、演習、実習等との関連をふまえながら、学生の自学自習では学習困難な領域を重点的に援助で

きるよう、児童学科全教職員および学外講師による強力な指導体制のもとに推進しているところであります。学生諸君の主体的な学習への取り組みによって、本講座を大いに利用して中村学園大学入学の所期の目的達成をめざして努力されることを願っています。(児童学科)

月/日	I 期	II 期
4/6	各教科の研究	
4/13	採用試験研究	模擬授業
4/20	特別活動	同和教育
5/11	各教科の研究	
5/18	文系教科の研究	理系教科の研究
5/25	学校・学級経営・教育課程と教育法規	
6/1	各教科の研究	
6/8	個人面接	模擬授業
6/15	教育時事	討論・小論文概論
6/22	同和教育	道徳教育
6/29	学校・学級経営・教育課程と教育法規	
7/6	個人面接	
7/13	グループ討議	グループ面接 模擬授業
8/19	体育実技	音楽実技

子どもの心 (21)

児童学科・幼児教育科

講師 佐 藤 鉄 太 郎



子どもと一緒に散歩していると、次から次へと質問責めにされる。驚くばかりの知識欲である。また、大変情感豊かであり、色々なことに感動する。こうした子どもの知識欲や情感は成長の過程で創られていくものである。

その成長に最も大きな影響を与えるのが母親である。成長の過程で子どもと最も長い時間を過ごす母親が、子どもの知的能力や情感の育成に与える影響は大きい。したがって、母親は子どもの知的欲求や情感の育成にできるだけ応えてやる必要がある。

子どもの頃、母親からお伽話や民話を聞き眠りについだり、一緒に歩いている時、野の花等について色々説明してもらった記憶があるであろう。こうしたことが子どもの知識や情感の育成に大きく役立つことは、いうまでもない。近い将来、母親や教師となる学生にも、子どもに対してこのようなことを行つて欲しいものである。

児童学科の教職特別講座で小論文の指導をすることがある。学生の悩みは、文章力や語彙力の不足である。学生から、どうしたら文章力や語彙力を付けることができるかと問われる。それで本を読むかと問うと、学生はあまり本を読まないという。最近、古典や文学作品等の読書をする学生は少ない。これでは文章力も語彙力も身に付かないことは当然である。

将来、読書をしていない親や教師が増えたら、知識欲のある子どもや情感豊かな子どもは育たない。学生は将来、親として、教師として次の社会を担う知識や情感豊かな心の子どもの育てなければならない。そのためにもっと古典や文学作品等の読書をするよう勧める。

5月8日

就職担当者の1日

事務系就職担当の学生課浅見係長。この時期は、学生との個人面談が業務の中心である。

8:30 ●本日の業務について課長、課長補佐と打ち合せ後、日本経済新聞に目をとす。

8:40 ●第4回事務系就職セミナーの資料準備(5月13日開催)

●大学生指定面談 9名(履歴書点検、指導を含む)

●A百貨店採用担当者来校、面談

13:00

昼食

13:50 ●中途求人応募書類持参(卒業生5名)

①オーディオメーカー

B社……………担当課長と面談

②C出版社……支社長・担当部長と面談

●短大生就職相談 11名

●佐賀市内就職開拓等の準備(5月10日出張)

18:30



学生と面談する浅見係長

誰よりも早く企業に足運んでみよう。

セミナーの情報入手できるチャンスもある。一見とつきにくいことが聞けるようになるのだ。また、就職活動に役立つビデオや本の貸し出しも行っている。「今の時期だったら、具体的な企業名などを挙げて相談してほしい。その紹介や、取り組み方などのアドバイスができます」と、浅見係長は就職希望者は、とりえず積極的

平成8年度本格化する就職活動

—学生課取材

平成8年度の就職活動もいよいよ本格化してきた。本学学生課では、事務系、栄養士系、幼稚園保育系などの希望職種別に、担当者を配置して、きめ細かな対応をしている。これは、職種によって就職活動の方法や、求人の時期・出方も違うからである。今回は、最近の景気の低迷で、8年度も厳しい状況が続くような、事務系を中心に学生課の取り組みを紹介しよう。

企業訪問

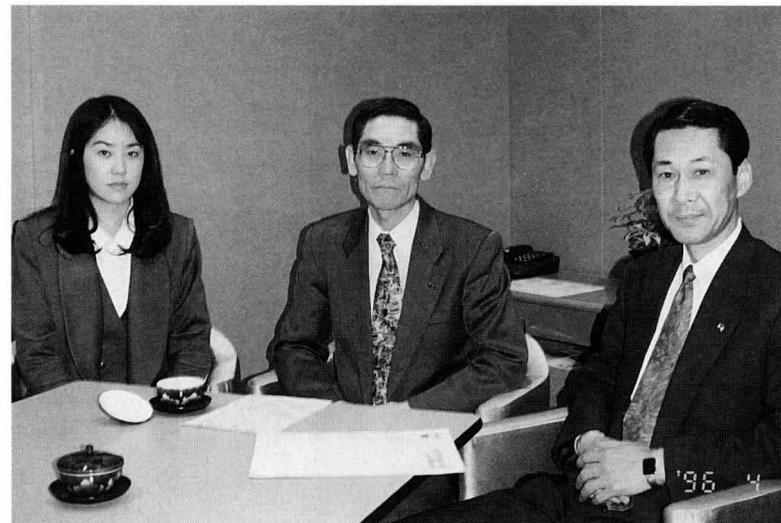
事務系の就職担当者は、去年三五〇の企業を訪問した。地域も福岡だけでなく、Uターン就職者のために九州各県にまたがる。それに加えて「企業から、学校推薦の求人に来た時、推薦する学生の書類などは郵送するのではなく、なるべく持参して、企業を訪問するようにしている」と、久保田学生課長。直接訪問し、採用担当者と面談することにより、業界の動向や他大学の状況などの情報交換ができるという。このようにして直接集めたナマの情報は当然学生の就職指導に生かされている。

就職説明会

「徹底した個別指導が本学の特色だが、その前の基本的な心構えなど、最低限知ってほしいことを伝えるために就職説明会を行っている」と、事務系就職担当の浅見係長。就職活動の基礎の基礎なので、就職希望者はぜひ参加してほ

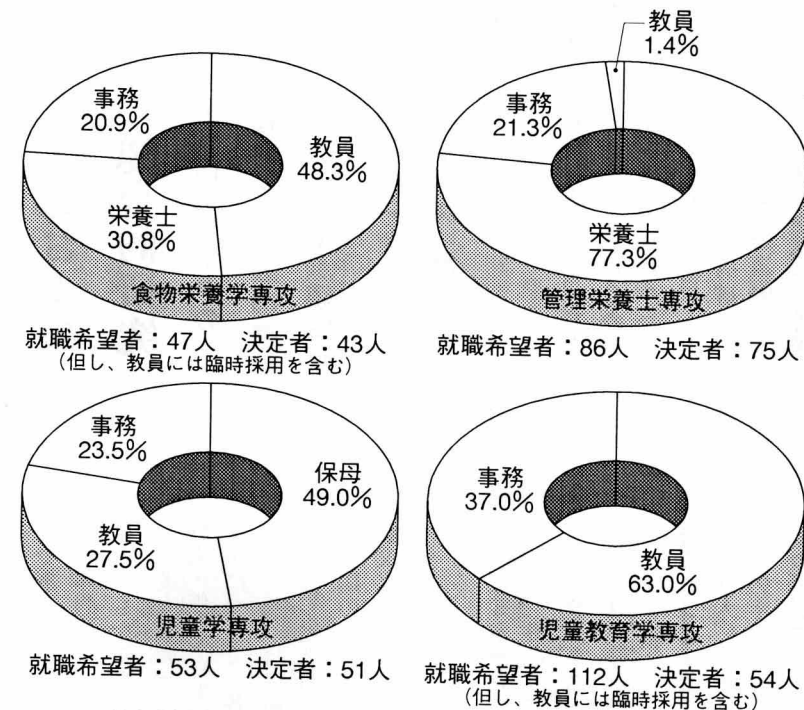
個人面談

履歴書の書き方、面接でどういうことを聞かれるのか、縁故があるがどんな企業かわからない、第一志望の企業に資料を請求したが連絡がない等々。実際に就職活動を始めると、様々なことで迷いが出てくる。そんな時に、頼りになるのが学生課の「個人面談」である。就職担当者は、企業訪問などを通じて人事担当者から直に得た情報をもとに学生の相談に乗ってくれる。



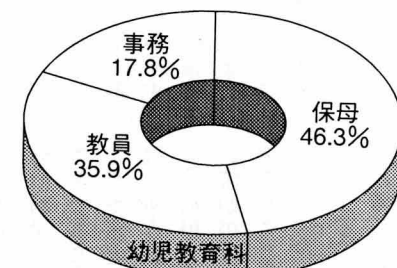
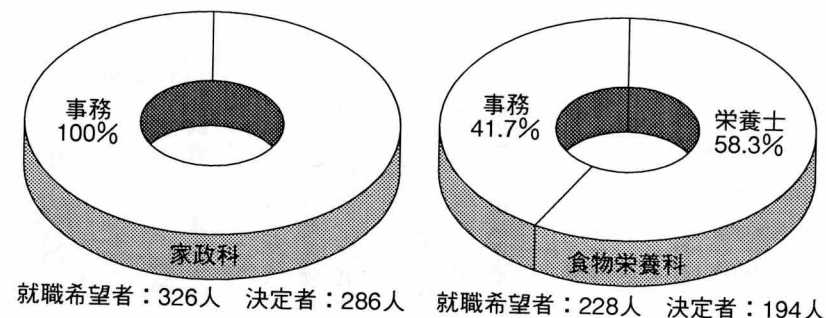
△企業訪問—
日本債券信用銀行福岡支店、採用担当者の安達副支店長(右)、卒業生の谷口さん(左)と面談する久保田学生課長(中央)

平成7年度卒業生の就職状況



【合計/就職希望者数298人:決定者数223人】

※上記円グラフは、就職決定者数を100として職種別に求めたものです。



【合計/就職希望者数799人:決定者数714人】

※上記円グラフは、就職決定者数を100として職種別に求めたものです。

専攻別就職決定 大学

(平成8年4月30日現在)

平成7年度卒業生の就職状況は、四月末現在で求人件数、内定率ともに昨年を上まわる結果となった。求人件数は大学で一〇・一%、短期大学で三・四%増加し、内定率は、大学七四・八%、短期大学八九・三%となった。特に一般事務

系では、年が明けてから内定を得る学生が例年より多かった。これは長引く不況で今まで新規採用を控えていた企業が、年明け後、欠員募集というかたちで求人を出すようになったこと、なによりも最後まであきらめずに学生が頑張

科別就職決定 短期大学

(平成8年4月30日現在)

ったためである。また、免許・資格を生かした専門職への就職は昨年以上に好調で、全体の内定率の上昇につながっている。

また、短期大学では、食物栄養科八五・〇%、家政科八七・七%、幼児教育科九五・五%となっている。攻九六・二%、児童教育学専攻四八・二%(小学校教員臨時採用含む)。児童教育学専攻については、小学校教員採用数の減少で競争が激化しており、採用試験不合格者の多くは就職せずに、今年度再受験する。

厳しい中でも、決定率は上昇



新入生

夢と希望の学生生活スタート

満開の桜が青空に映える四月五日、大学三百三十二名、短期大学九百三十三名の新入生を迎えて入学式が行われた。そこで、入学式当日の新入生の表情や学生生活のスタートを追ってみた。



▶中村学園三陽高校出身の四人、左から
▼ラクビー部と得意の書道部に入る予定。
(津川 光隆君)
▼ラクビー部に入る。あとはアルバイトを頑張りたい。(富田 英信君)
▼4年間バラ色の生活を送ります。(宇佐波 康一君)
▼ネクタイが結べず、富田君に結んでもらっていた。(前泊 主税君)
(前泊君は児童学専攻一年、他三人は管理栄養士専攻一年)



▲大学 児童教育学専攻1年
小田 佳美さん(中津南高校出身)
福岡でひとり暮らしを始めています。好きなことが出来るので結構楽しいです。入学した後は、サークルとアルバイト両方頑張りたいです。



▲短大 家政科1年
(右)山下 裕子さん(左)塚本 恭子さん(いずれも武蔵台高校出身)
入学式10分前。「時間がないんです」と言っていたわりにはばっちりポーズをとってくれた2人でした。

宿泊研修 を終えて



▲クラスの仲間と。(左から3番目が福光さん)

大学 児童教育学専攻一年
福光 綾
(中村学園女子高校出身)
私達児童学科は、四月十八・十九日の二日間、雲仙での宿泊研修に参加しました。
研修初日は昼食を取った後、普賢岳を見学するために仁田峠へバスで登りました。噴火後約五年たったというのに、いまだに山は崩れ、周りの木々は枯れていました。しかし山の一部では少しずつ緑を取り戻し始めていました。

自由行動では、地獄めぐりへ出掛けたり、夜の余興では、ゲームやカラオケで盛り上がり、すぐに友達を作る事ができました。翌日のクラスマッチは大変白熱したものとなり、とても楽しい二日間でした。
この二日間の研修は、入学して間もない私達にとって、人間関係を深めるために有意義なものとなりました。この仲間たちとこれから四年間、将来に向けて頑張りたいと思います。

サークル勧誘



▲ユースホステル



▲ラクロス愛好会



▲クリスタルハーモニー

ZOOM UP

寮生活

インタビュー



▲(右)短大 幼児教育科1年 田中 千香子さん(延岡高校出身)
(左)短大 食物栄養科1年 岩本 志保さん(高千穂高校出身)

▲寮ってどんな所ですか?
岩本…みんなとすぐ友達になれました。寮には、寮当(寮での当番の事)があって、この前、初めて当番にあたったんですけど、とてもおもしろかったです。(※彼女はインターホンなどを触れて嬉しかったらしい...)でもそれを先輩に言ったら「それはまだ甘い!」と言われました。(笑)
田中…食事がみんな速いので、自然に私も食べるのが速くなります。
▲寮に入ると太るっていうもんね。
田中…そうそう。夕食は六時だから十時ぐらいにはお腹がすいて、どうしてもお菓子に手が伸びてしまいます。(笑)
▲話は変わるけど、福岡の印象は?
岩本…都会。このまえ、天神に行きました。入学したばかりだからお金がないけど、これからバイトして、いろんなところに遊びに行きたいです。
田中…遊ぶところがいっぱいある。

る。大学生になったことだし、これからコンパについて早く彼氏を作りたいです。(※強調している)
▲ホームシックになることは?
岩本…まだありません。この前、お父さんから「志保ちゃんへ」という手紙がきていて、とてもはしゃしかったです。
田中…ホームシックにはならなかったけど、フレンドシックになりました。でも、先輩も優しいし、友達もできたので大丈夫です。
▲大学生活は?
田中…高良先生の講義がおもしろかったです。
両…サークルにはいって、楽しい大学生活を送りたいと思っています。
二人とも宮崎出身ということですが、若いから順応性があるのでしょうか...とにかく二人とも明るくはきはきと答えてくれました。楽しい学生生活を送ってくださいね。

MESSAGE 財津和夫さん

今一番自由で輝いているみなさんへ

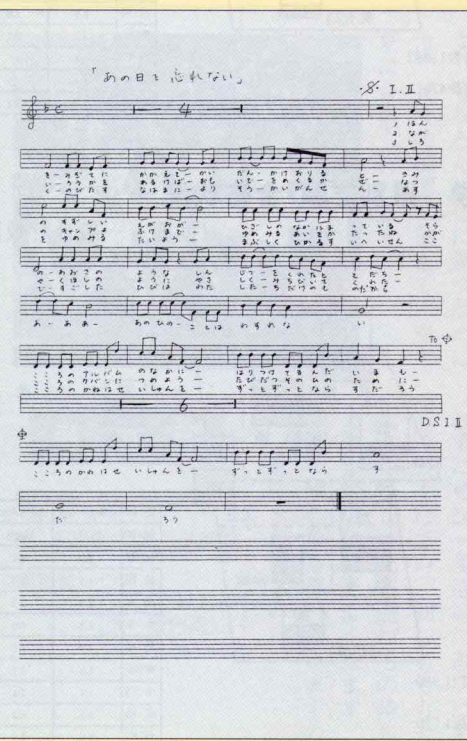
大学開学三〇周年を記念した、キャンパスソング「あの日を忘れない」が完成し、学生の皆さんにもCDがプレゼントされました。作詞・作曲・編曲をしていただいた福岡出身のミュージシャン財津和夫さんから、この曲に寄せる思いをメッセージとして頂きましたので紹介します。

中村学園大学の三〇周年という記念すべき節目に、キャンパスソングを作ることができた喜びに感謝いたします。
どんな曲を作ろうかと考えたとき、私が福岡出身ということもあり、自然に浮かんできたのが中村学園大学のある街・別府に吹いてくるさわやかな風でした。先日、大学を訪ねた際に感じた風のイメージが、私の中に強く残っていたせいかもしれません。
大学生という、ある意味では一番自由で輝いている今の時を、いつまでも大切にしたい。

二十世紀に向けて、大きな声で歌って下さい。」財津和夫



キャンパスソング完成



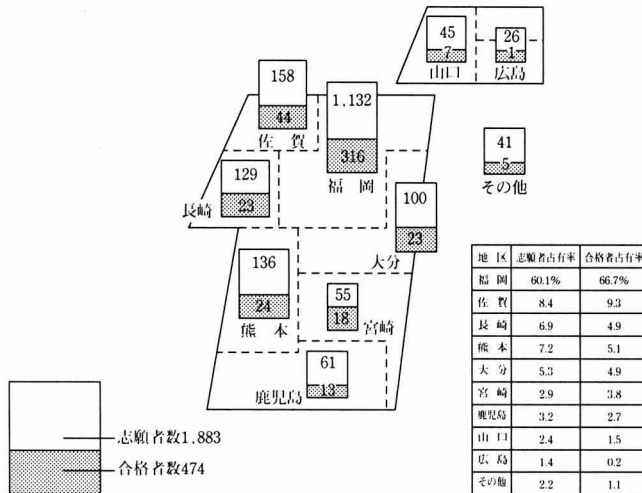
平成八年度 入学試験の結果

大学・短期大学とも 志願者増加

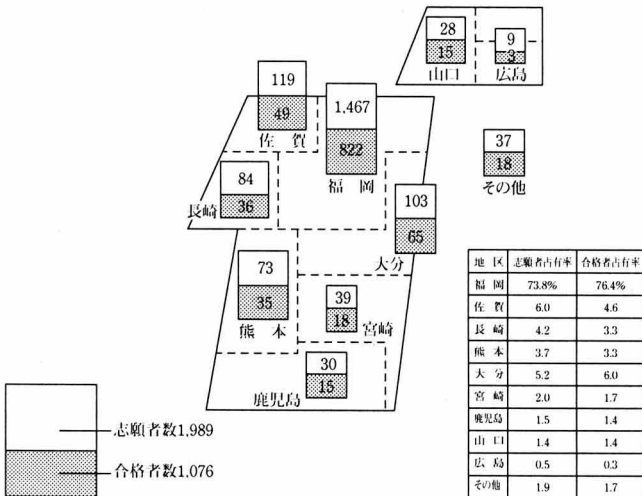
平成八年度入学試験の結果がまとまった。十八歳人口の減少で志願者が減少する大学がある中、本学は前年度比で大学が十二％、短期大学が十四％志願者が増加した。

都道府県別にみると、福岡県が志願者全体の七十四％を占めている。幼児教育科への志願者が増え、四十％の増加となった。幼児教育科は、男子の志願者も増え、前年度の六名から、二十四名になった。

大学 県別志願・合格状況 (推薦・一般合計数)



短期大学 県別志願・合格状況 (推薦・一般合計数)



推薦入試では、志願者は前年度比十二％減少したが、一般入試では二十％増加した。中でも、児童学専攻は、推薦・一般とも増加し、五十八％の志願者増となった。また、男子の志願者も増えており、推薦で四十七名、一般で二百三十二名の志願があった。

平成八年度 専攻別志願者・受験者・合格者 [大学]

学 科 専 攻	志願者	受験者	合格者	競争率
食物栄養	食物栄養学 (4)	52 (3)	16 (2)	3.25
	管理栄養士 (5)	121 (5)	27 (1)	4.48
児 童	児 童 学 (8)	65 (8)	15 (0)	4.33
	児童教育学 (30)	120 (30)	27 (1)	4.44
合 計	360 (47)	358 (46)	85 (4)	4.21

学 科 専 攻	志願者	受験者	合格者	競争率	補欠合格
食物栄養	食物栄養学 (10)	137 (10)	50 (1)	2.74	0
	管理栄養士 (12)	416 (12)	92 (3)	4.52	0
児 童	児 童 学 (30)	215 (30)	69 (4)	3.12	0
	児童教育学 (180)	732 (177)	178 (23)	4.11	19
合 計	1523 (232)	1500 (229)	389 (31)	3.86	19

[短期大学]

学 科	志願者	受験者	合格者	競争率
食 物 栄 養 科	204 (0)	204 (0)	115 (0)	1.77
家 政 科	88 (0)	88 (0)	73 (0)	1.21
幼 児 教 育 科	255 (2)	254 (2)	139 (0)	1.83
合 計	547 (2)	546 (2)	327 (0)	1.67

学 科	志願者	受験者	合格者	競争率	補 欠 格
食 物 栄 養 科	586 (8)	586 (8)	206 (2)	2.84	0
家 政 科	319 (0)	318 (0)	254 (0)	1.25	2
幼 児 教 育 科	537 (22)	536 (22)	289 (4)	1.85	0
合 計	1442 (30)	1440 (30)	749 (6)	1.92	2

進学説明会及びキャンパス公開日程決定

平成 9 年度入学試験のための、進学説明会とキャンパス公開の日程と会場が決まりました。

当日は、入試情報や各種資料を用意して、受験生の相談に答えられるよう準備しています。

特に、キャンパス公開においては、模擬講義や在学生との相談、就職状況の説明、施設見学など、キャンパス公開でないと体験できない催しを用意いたしておりますので、受験生・父母の皆様のご来場をお待ちしております。

[進学説明会]

地 区	日 程	開 催 場 所	地 区	日 程	開 催 場 所
福岡市	6 / 6	福岡国際ホール	熊本市	7 / 17	ホテルニューオータニ熊本
	6 / 15	福岡ファッションビル		9 / 17	チサンホテル
	7 / 18	アクロス福岡		10 / 3	熊本ニュースカイホテル
北九州市	8 / 3	博多スターレーン	八代市	6 / 21	八代ロイヤルホテル
	9 / 17	天神ビル		6 / 22	市民センター
	9 / 27	福岡ファッションビル		6 / 7	トキワ会館
	6 / 12	西日本総合展示場		7 / 11	コンパルホール
	7 / 10	KMMビル		9 / 20	トキワ会館
久留米市	9 / 21	ラフォーレ原宿小倉	別府市	10 / 1	トキワ会館
	9 / 26	リーガロイヤルホテル小倉		5 / 31	大分県青少年会館
	6 / 1	ホテルニュープラザ		6 / 6	MRTmicc
佐賀市	7 / 9	ホテルニュープラザ	宮崎市	10 / 5	MRTmicc
	6 / 13	ラッフルベルズ	鹿児島市	6 / 5	林田ホテル
長崎市	9 / 25	マリトピア		10 / 4	鹿児島サンロイヤルホテル
	6 / 14	長崎プリンスホテル	下関市	6 / 11	シーモール下関
	9 / 24	長崎新聞文化ホール		9 / 30	シーモール下関
諫早市	8 / 2	ホテルグランドパレス諫早	広島市	7 / 15	並木バラスト
佐世保市	9 / 21	J A 佐世保		8 / 29	広島国際会議場
平戸市	6 / 29	平戸文化センター	徳山市	7 / 6	アドホックホテル丸福
熊本市	6 / 4	キャッスルホテル			

[キャンパス公開]

日 時	場 所	本 学 対 象	受験生・父 母	内 容
8 月 3 日 (土) 10:00~15:30	本 学 (福岡)	対 象	受験生・父 母	施設見学・学科紹介・模擬講義・資料展示・学校紹介 VTR 上映・在学生との相談・就職説明等

元気なサークル(16) 弓 道 部

大学 食物栄養学専攻
四年 中野 寿子

私達弓道部は、道場が体育館東側にあるため、存在こそあまり知られていませんが、大学でも一、二を争うとても元気なサークルです。

学生弓道の世界は試合がとても多いのが特徴です。試合「遠征なので、旅行気分が満喫できる」というのは弓道部のおいしい特典といえるでしょう。私達が過去三年間に参加した試合会場は東京、神戸、京都、松山、指宿、別府 etc.

東京での全日本大会はなんと、あの日本武道館で試合が行われました。試合が終われば三、四泊し、観光するのが恒例です。いかに安く長く滞在し、いろんな所を回るか、部員みんなで考えるのも楽しい思い出になります。もちろん試合に勝つためには、日々の練習に加えて、春と夏に合宿も行います。

私達は、弓道を楽しくいうというモットーで練習していますが、やはり弓道は武道なのでワイワイ楽しむスポーツではありません。練習中の私達は真剣そのものです。では、いったい何が私達をそこまで弓道にひきつけるのでしょうか。それは、矢が的に当たった時のパーン！という音。快感で病み付きになってしまふのです。

また、弓道は文句なしにかっこいいスポーツです。姿勢で、シーンとした道場で弓矢を持てば気持ちもきりりとひきしまりかっこいい気分になります。私は大学に入って弓道を始めたのですが、時間を本当に楽しく過ごす秘訣は、自分に厳しくわずかな時間をつくることではないかと最近思うようになりました。学生時代の有り余った自由と時間に疑問を感じたら、迷わずにぜひ一度道場に遊びに来てみてください。初心者でも大丈夫。優しい先輩達が弓の持ち方から親切に教えてくれます。部員一同心から待っていますので、是非きて下さいね。



弓 道 部

監 督 仲 和良先生
顧問 今井克己助教授
部員数 12名
(大・短合同)

平成 9 年度 入試要項決定(概要)

平成 9 年度入試要項が決定した。日程については、次のとおり。

中村学園大学			中村学園短期大学		
推薦入 学選考 (公募制)	出 願 期 間	平成 8 年 11 月 1 日 (金) から 平成 8 年 11 月 12 日 (火) まで	推薦入 学選考 (公募制)	出 願 期 間	平成 8 年 11 月 1 日 (金) から 平成 8 年 11 月 12 日 (火) まで
	選考日	平成 8 年 11 月 19 日 (火)		選考日	平成 8 年 11 月 20 日 (水)
	選考場	本学 (福岡)		選考場	本学 (福岡)
	選 考 科 目	I 小論文 10:00~11:30 II 面接 12:30~		選 考 科 目	I 小論文 10:00~11:30 II 面接 12:30~
試験入 学選考	選 考 方 法	調査書・小論文・面接による総合評価。	試験入 学選考	選 考 方 法	調査書・小論文・面接による総合評価。
	合 格 表	平成 8 年 11 月 30 日 (土)		合 格 表	平成 8 年 11 月 30 日 (土)
	出 願 期 間	平成 9 年 1 月 8 日 (水) から 平成 9 年 1 月 24 日 (金) まで		出 願 期 間	平成 9 年 1 月 8 日 (水) から 平成 9 年 1 月 24 日 (金) まで
	試験日	平成 9 年 2 月 2 日 (日)		試験日	平成 9 年 2 月 3 日 (月)
試験入 学選考	試験場	本学 (福岡)・広島・宮崎	試験入 学選考	試験場	本学 (福岡)
	試 験 科 目	I 国語 10:00~11:00 II 英語 11:30~12:30 III 選択 13:30~14:30 (注) 選択科目は、数学・化学・生物・日本史・世界史から 1 科目選択。(食物栄養学科は日本史・世界史を除く)		試 験 科 目	I 国語 10:00~11:00 II 英語 11:30~12:30
	選 考 方 法	3 科目の合計得点。(各教科 100 点、300 点満点による)		選 考 方 法	2 科目の合計得点。(各教科 100 点、200 点満点による)
	合 格 表	平成 9 年 2 月 13 日 (木)		合 格 表	平成 9 年 2 月 13 日 (木)

※上記内容に関する詳細については、本学広報室までお問い合わせください。

平成8年度予算について

学校法人中村学園の平成8年度
の予算は、去る三月十四日の評議
員会及び三月十八日の理事会にお
いて承認されました。予算編成に
あたったの基本方針は、教育と経
営とのバランスを図り学園全体と
して、より一層、財政の健全化を
目指すことです。具体的には

(一) 収入の大きな柱である学生生
徒納付金収入については、教育効
果を考慮し、適正な学生、生徒、
園児数を計上すること。

(二) 大学・短期大学において、経
常経費補助金のうち、一般補助は
減少傾向であるが、反面特別補助
金は増加が見込めるので、それに
対応した教育研究を積極的に取り
組むこと。

(三) 経費については、物価上昇は
ほとんどないと思われるので、前
年度と同様とし、特に管理経費の
抑制に努める。

以上の方針に沿って予算編成を
行いました。各学校の収支予算の
概要は次のとおりです。

「大学院・大学・短期大学」
収入に関しては、学生納付金収
入で前年度は、見込み以上の入学
者となりましたが、今年度は、適
正人員による計上のため前年度比
二・七％減となりました。
支出に関しては、教育研究経費
において、国際学会研究発表旅費
(四名)や教員の海外研修旅費を
計上し、また教育研究用機器備品
の充実として、

・情報処理センターの汎用コンピュ
ター及びパソコンシステムの更
新に伴う費用

五、二〇〇万円
・学内LAN構築関係で
七、九四五万円
・図書館電算システム(更新)
七三〇万円
・家政科パソコンシステム(更新)
一、四三七万円
等を計上しました。

学生募集に関しては、テレビ広
告のエリアを福岡・熊本・大分に
加え佐賀・宮崎にも拡大し募集強
化のための費用を計上しました。

施設設備関係で、
・第二集給室及び第二学生ホール
改修工事 六、八〇〇万円
・サブグラウンドの改修工事
二、八〇〇万円
・大会議室の机・椅子の買替え
一、三六五万円

等教育研究環境を整備します。
「女子中学校・高等学校」
生徒納付金収入では、中学校・
高等学校共、若干の生徒の増加の
見込みで計上しました。

施設設備関係では、
・水仙寮の冷暖房工事 四、七五〇万円
・体育館東側校地の造成工事費
三、三〇〇万円
・運動場バックネット建替や中庭

平成8年度資金収支予算書

平成8年4月1日から
平成9年3月31日まで

(単位千円)			
収 入 の 部			
科 目	8 年度予算額	前年度予算額	増 減 (△)
1 学生生徒納入金収入	4,364,450	4,444,480	△ 80,030
2 手 数 料 収 入	157,730	153,550	4,180
3 寄 付 金 収 入	8,040	10,080	△ 2,040
4 補 助 金 収 入	1,160,790	1,081,210	79,580
5 資 産 運 用 収 入	84,310	45,810	38,500
6 事 業 収 入	182,080	187,900	△ 5,820
7 雑 収 入	62,620	131,260	△ 68,640
8 借 入 金 収 入	0	200,000	△ 200,000
9 前 受 金 収 入	1,159,350	1,153,940	5,410
10 その他の収入	89,390	57,620	31,770
11 資金収入調整勘定	△ 1,198,230	△ 1,413,880	215,650
前年度繰越支払資金	3,882,720	2,886,470	996,250
収 入 の 部 合 計	9,953,250	8,938,440	1,014,810

(単位千円)			
支 出 の 部			
科 目	8 年度予算額	前年度予算額	増 減 (△)
1 人 件 費 支 出	3,300,280	3,244,140	56,140
2 教育研究経費支出	725,650	731,390	△ 5,740
3 管理経費支出	205,050	219,950	△ 14,900
4 借入金等利息支出	56,500	63,840	△ 7,340
5 借入金等返済支出	266,250	212,420	53,830
6 施設関係支出	231,740	459,270	△ 227,530
7 設備関係支出	203,600	120,010	83,590
8 資産運用支出	21,720	27,430	△ 5,710
9 その他の支出	139,940	103,860	36,080
〔予 備 費〕	14,900	14,900	0
10 資金支出調整勘定	△ 90,790	△ 141,490	50,700
次年度繰越支払資金	4,878,410	3,882,720	995,690
支 出 の 部 合 計	9,953,250	8,938,440	1,014,810

・武道場北側の環境美化工事等
計上しました。 七八〇万円

「三陽中学校・高等学校」
生徒募集関係等で
・中学校・高等学校の学校紹介ビ
デオ製作費 四二二万円
・中学校の校章取り付け費用 二五八万円
その他、三陽高等学校は本年度
開校十周年を迎えるにあたり行事
費を計上しております。

「学園総合」
学園全体の資金収支予算の収入
の面では、本年度は、借入金等収
入はありませんが、当年度収入合
計は前年度予算額と、ほぼ同額と
なります。これに、前年度繰越支
払資金増加分、九億九、六〇〇万
円を加え、収入の部では前年度に
比して、十億一、四〇〇万円の収
入増となります。
支出の面では、借入金等返済支
出は五、三〇〇万円の増、施設関
係は本年度は校地拡充のための取

得費がないため、二億二、七〇〇
万円の減となり、次年度繰越支払
資金は、前年度より九億九、五〇
〇万円増額の四十八億七、八〇〇
万円となります。

消費収支では、帰属収入六十億
二、四〇〇万円で前年度比〇・六
％減収見込みとなり、これに基本
金組入額六億六、九〇〇万円を控
除した五十三億五、五〇〇万円が
消費支出に充当可能な消費収入で
二・七％の減少となりました。

消費支出は、人件費が前年度比
二・一％増となり、管理経費の抑
制により、消費支出の部の合計は
前年度比〇・四％増加にとどまり
、当年度消費収入超過額は六億円と
なり、前年度までの繰越消費支出
超過額は、十四億五、八〇〇万円
あり、それを差引くと翌年度へ繰
越消費支出超過額は八億五、七〇
〇万円と年々改善されております。
以上が平成8年度の予算の概要
ですが、予算執行に当たっては、
適正且つ厳正な執行に努めます。

平成8年度消費収支予算書

平成8年4月1日から
平成9年3月31日まで

(単位千円)				
消費収入の部				
科 目	8 年度予算額	前年度予算額	増減 (△)	
1 学 生 生 徒 納 付 金	4,364,450	4,444,480	△	80,030
2 手 数 料	157,730	153,550		4,180
3 寄 付 金	12,360	18,890	△	6,530
4 補 助 金	1,160,790	1,081,210		79,580
5 資 産 運 用 収 入	84,310	45,810		38,500
6 事 業 収 入	182,080	187,900	△	5,820
7 雑 収 入	62,620	131,260	△	68,640
帰 属 収 入 合 計	6,024,340	6,063,100	△	38,760
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 669,040	△ 560,940	△	108,100
消 費 収 入 の 部 合 計	5,355,300	5,502,160	△	146,860

(単位千円)				
消費支出の部				
科 目	8 年度予算額	前年度予算額	増減 (△)	
1 人 件 費	3,350,370	3,281,330		69,040
2 教育研究経費 (減価償却額)	1,063,730 (338,080)	1,069,800 (338,410)	△ (△	6,070 330)
3 管理経費 (減価償却額)	268,920 (63,870)	282,790 (62,840)	△ (	13,870 1,030)
4 借 入 金 等 利 息	56,500	63,840	△	7,340
5 資 産 処 分 差 額 〔予 備 費〕	0 14,900	21,530 14,900	△	21,530 0
消 費 支 出 の 部 合 計	4,754,420	4,734,190		20,230
当年度消費収入超過額	600,880	767,970		
前年度繰越消費支出超過額	1,458,170	2,226,140		
翌年度繰越消費支出超過額	857,290	1,458,170		

健康生活の ススめ(22)

食物栄養学科・食物栄養科
助教授 古 賀 信 幸



「健康であるには？」との問い
に、バランスのこれた栄養と適度
な運動を、といった回答が多い。
私の場合、栄養については昼は
大学食堂の定食、朝晩は妻の気分
次第であり、これ以上、自分の力
ではあまり努力のしようがない。
せめて歓迎会、忘年会、謝恩会等
でおいしいものが食べられればと
思う。

一方、運動については不思議な
ことに、自分の意志で積極的に3
~4年単位でいろいろやってきて
いる。中学時代からみると、バレー
ボール、合唱(これも腹筋と頬筋
の運動である)、競技ダンス(い
わゆる社交ダンス)、卓球、テニ
スがある。これらはいずれも相手
が必要であり、相手を負かしたり、
または相手と協調することに大き
な喜びを感じる。どれをとっても、
のめり込むとかなり奥が深い。

最近、これらにジョギングが加
わって。一昨年、シティマラソン
福岡の10kmの部に申し込んだのが
きっかけである。今年はさらに未
知の距離へと挑戦し、わが人生42
年間で初めてハーフマラソンを完
走することができた。それまで1
人で走ることがなぜ楽しいのかと
思っていたが、無事ゴ-ルした時
の喜びはかなりのものである。

この他にもいくつかいいことが
ある。 風邪をひかなくなった。
夜中に走るため、酒量が減った。
家庭での会話が増えた。例えば、
「こんな遅くに音をたてないで」
といていた妻は、最近では、
「あら、全日は走らないの? コ
ンビニで牛乳買ってきて買おうと
思ってい右のに…」である。

今後とも、講義、試験の採点等
の仕事に加え、学生諸君の言動お
よび行動にもついていけるだけの
体力・気力を維持すべく、楽しく
運動を続けていくつもりである。



△今年4月に完成した図書館のタペストリー。(平成6年度卒業記念品。
作者は、本学卒業の砂島睦子氏)